

2023年4月3日

アセットマネジメントOne株式会社

## マテリアリティ・マップの更新について

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 杉原 規之、以下「AM-One」）は、定時見直しに伴うマテリアリティ・マップの更新を実施したことをお知らせします。

AM-One は、「未来をはぐくむ」上で障壁となっているグローバルな環境・社会の重要な課題を特定し理解するため、「サステナブル・マテリアリティ」と「フィナンシャル・マテリアリティ」の2軸で分析を行い、2021年10月に独自のマテリアリティ・マップを策定いたしました。

また、2022年7月にはロシアによるウクライナ侵攻を受けた随時見直しを実施し、更新後のマテリアリティ・マップおよびその更新のプロセスを「[サステナビリティレポート 2022](#)」にて公表いたしました。

この度、年次の定時見直し結果に伴い、以下の通りマテリアリティ・マップを更新いたしました。

- ① ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン（「D&I（ジェンダー含む）」から名称変更）  
社会構造的な不平等が存在する中での「エクイティ（衡平性）<sup>1</sup>」の重要性を鑑み、名称変更。
- ② 持続可能な都市（「非効率な公共インフラ」と「都市化（交通インフラ、住宅供給）」を統合したうえ名称変更）  
都市に関する課題は「都市化」に限らない<sup>2</sup>ことを鑑み、項目のカバレッジを広げると共に名称変更。
- ③ 気候以外による地震・噴火などの自然災害（サステナブル・マテリアリティ軸上で一段階上に位置変更）  
グローバルでの自然災害の頻発と新興国を中心とした「災害と貧困の悪循環」の顕在化を受け、変更。
- ④ 教育格差（フィナンシャル・マテリアリティ軸上で一段階右に位置変更）  
教育格差の解消がアフリカ、南アジア等の地域の経済成長に資するとの試算<sup>3</sup>を受け、重要度を変更。
- ⑤ 将来に向けた技術獲得と構造的な失業と収入の低下（フィナンシャル・マテリアリティ軸上で一段階右に位置変更）  
現状は不十分であるリスキリング機会の増加が、経済成長に繋がる<sup>4</sup>ことを鑑み、重要度を変更。
- ⑥ 人種差別（フィナンシャル・マテリアリティ軸上で一段階右に位置変更）  
人種差別の経済的損失が、2019年だけで約3兆ドルになるとの試算結果<sup>5</sup>を受け、重要度を変更。

<sup>1</sup> 「平等」が特定のグループに存在する障壁や不利な点を考慮せず、すべての人を同じように扱うのに対して、「衡平」は不平等なスタート地点を認識し、社会構造的な歪みを考慮したうえで、すべての人に機会を提供する。

<sup>2</sup> 人口集中に伴う課題である「都市化」のほか、人口減少に伴う課題や都市開発等が、その他の環境・社会課題として考えられる。

<sup>3</sup> Hanushek, E. A., & Woessmann, L. (2022). The Basic Skills Gap. *FINANCE & DEVELOPMENT*.

<sup>4</sup> World Economic Forum PricewaterhouseCoopers (PwC). (2021). Upskilling for shared prosperity. World Economic Forum.

<sup>5</sup> Buckman et al. (2022). The economic gains from equity. *Brookings Papers on Economic Activity*, 2021(2), 71-139.

AM-One は、マテリアリティ・マップを「投資の力で未来をはぐくむ」資産運用会社となるための羅針盤として、エンゲージメントや議決権行使、投資判断、商品戦略やコーポレート・サステナビリティ等、当社の幅広い事業活動における指針の一つとしております。今後も全ての方の資産形成に資するよう、サステナブルな商品・サービスの提供を通じて、持続可能な社会とお客さまの未来に貢献してまいります。

### 【変更後のマテリアリティ・マップ】



### 【アセットマネジメントOneについて】

アセットマネジメントOneは、DIAMアセットマネジメント、みずほ信託銀行の資産運用部門、みずほ投信投資顧問及び新光投信（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約60兆円と国内有数の規模を誇ります。統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、「投資の力で未来をはぐくむ」をコーポレート・メッセージに掲げる資産運用会社として、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

※運用資産残高は2022年3月末時点。

公式HP <http://www.am-one.co.jp/>

商号等 / アセットマネジメントOne株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号  
 加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会